



No.123
(2025/9/1)

編集・発行：**教 育 課**

串本町サンゴ台690番地5

TEL 0735-67-7260 / FAX 0735-67-7326



表紙文化財紹介

ばん れい とう

万 霊 塔 (高富)

町指定文化財 (建造物)
昭和58年4月10日指定

今月号の表紙は、高富の光明寺にある万霊塔です。昭和58年4月10日に文化財指定されました。三界万霊塔とも呼ばれ、仏教の世界観である三界（欲界、色界、無色界）すべての精霊の供養を目的として建てられたものです。

石塔の面いっぱいに刻まれた文字は、力強くたくましさにあふれています。紀年銘はなく、時代ははっきりしませんが、字体からみて江戸時代でもかなり古いものと推測されています。

町民総合展開催 ～出展作品募集～

今年も町教育委員会主催の町民総合展を開催します。

第21回目となるこの総合展は、串本町の文化・芸術の祭典であり、毎年工夫をこらした様々なジャンルの作品が多く出展され、鑑賞者を楽しませてくれています。

応募要領は次のとおりです。多くの出展とご協力をよろしくお願いいたします。

趣旨

町民の美術に関する愛好心と鑑賞力を啓発し、美術作品の創作意欲を盛んにするとともに町の文化向上、発展に資する。

日程

11月7日(金)～9日(日)
午前9時～午後4時30分
(最終日は午後4時まで)

応募資格

①串本町に住所を置く人

②串本町に勤務する人、または在学する人

③串本町内のグループに所属する人

会場及び部門

○町立体育館

生花、盆栽、

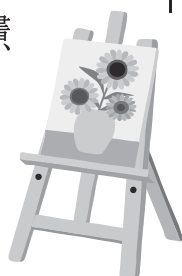
工芸、俳画、

俳句、手芸、書、

各公民館出展コーナーほか

○町文化センター

絵画、写真



出展手続

①所定の出展申込書に記入の上、10月1日(水)午後5時までに教育課または町文化センターに申し込んでください。

その他

①書は表装共高さ2.1m以内、幅は全紙までとします。

②絵画は100号以内とし、額装とします。(申込書に号数記入)

③立体作品(生花除く)は重量50kg以下とし、間口、奥行き共1m以内とします。

④生花は、間口、奥行き共1m以内とします。

⑤写真は、パネル張平面作品または額装とし、単写真は四つ切りから全紙まで、組写真は縦横1m以内とします。

⑥パッチワークは、1m以内とします。なお、大きい作品は折り畳んで展示します。

点数

○原則1人2点以内(但し、部門別とし、俳句部門は1点とします)

※展示スペースの都合により、1人当たりの作品点数が増減する場合があります。

搬入

○11月6日(木)午後1時から午後7時までの間に会場に搬入してください。

※原則として時間外の受付は行いません。当日都合の悪い場合は、前日に教育課までご持参ください。詳しくは、教育課にご相談ください。

搬出

11月9日(日)午後4時から会場より搬出してください。

その他

①搬入作品は慎重に取り扱いますが、不慮の損傷についてはその責を負いません。

②陳列等については、主催者及び運営委員に一任してください。

③出展申込状況により、展示場所を変更する場合があります。

④規定の期日に搬出されない作品は、処分することがあります。

⑤その他、運営上疑義が生じた場合は、運営委員会において協議の上決定します。



昨年度の町民総合展の様子

終戦80年 平和の歴史展開催

8月5日から14日までの間、第五福竜丸建造の地平和の歴史展実行委員会主催による終戦80年平和の歴史展が開催されました。

今年は第二次世界大戦の終戦から80年目にあたります。

期間中、串本町文化センターにてパネル展示・史料展示が行われたほか、町内戦跡ツアーや植松の海軍地下送信所の特別公開を実施するなど、身近なところで実際にあったものを中心に紹介することで、戦争を知らない世代が戦争を語り継いでいくための取り組みを実施しました。



パネル展示

パネル展示・史料展示

8月5日から13日まで文化センター2階ホワイエにてパネル展示を行い、串本町の戦時中の状況や、当時の考え方などを紹介しました。また、会議室D（和室）にて史料展示を行い、当時の軍服や、赤紙と呼ばれた召集令状、兵士の無事を祈って縫われた千人針等を展示しました。

8月6日には西向小学校高学年児童が、8月7日には串本中学校の生徒が平和登校として訪れ、両展示会場を見学しました。



史料展示



イサデ飛行場燃料庫

町内戦跡ツアー

8月13日には町内戦跡ツアーを実施しました。

文化センターを出発して、海軍望楼跡、イサデ飛行場燃料庫、串本造船所防空壕、海軍地下送信所の4箇所を見学しました。

また、今回は南紀熊野ジオパークガイドの会に依頼し、それぞれの戦争遺跡の案内・解説を行っていただきました。

なお、今回訪れた場所を含め、町内の戦争遺跡を紹介した冊子を作成していますので、ご希望の方は教育課までご連絡ください。

海軍地下送信所の特別公開

8月14日には植松防災センターの傍にある海軍地下送信所の特別公開を実施しました。

午前10時から午後4時終了まで、合計5回実施しました。

最初に施設の説明を行った後、参加者には安全のためヘルメットを着用していただき、内部の見学を実施しました。

内部は爆弾の投下にも耐えられるようにと、分厚いコンクリート壁で作られています。



海軍地下送信所内部

大人のための おはなし会

10月25日(土)

串本町図書館では読書週間にあわせて
「大人のためのおはなし会」を開催します。

活字を読むだけでなく、ゆったりとおはなし
やよみきかせを楽しんでみませんか？

どうぞお気軽にご参加ください。

- 時間：午前10時30分より
- 場所：串本町図書館
- お問い合わせ：串本町図書館
【62-4653】
- 主催：串本町図書館
- 協力：ぶっくらぶ串本

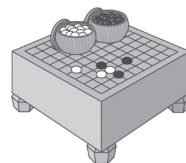


第21回

囲碁・将棋大会



- 日時 令和7年10月5日(日)
受付時間 午前9時00分～9時30分
抽選・対局開始 午前9時30分～
- 場所 串本町文化センター
- 主催 串本町教育委員会
- 部門 囲碁の部A級・B級
将棋の部A級・B級
- 参加資格 串本町在住者・出身者・勤務者
町内小・中・高校生



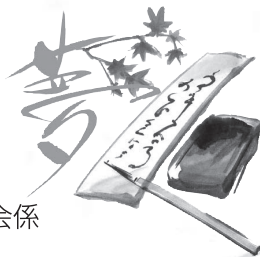
- お問い合わせ先 串本町教育委員会
教育課社会教育グループ
TEL.0735-67-7260

第7回 串本町短歌大会 参加者募集

串本町および近隣市町村等の愛好者が結社を超えて合同で行う大会です。ふるって出詠ください。

- 主催 串本町短歌愛好会・串本町教育委員会
- 出詠方法：
 - ①未発表作品一人一首（自由題）
 - ②作品はハガキ（原稿用紙も可）へ楷書で記入してください。
 - ③投稿後、作品の訂正や差し替えはできません。
 - ④住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記してください。
- 作品受付期間：
令和7年9月1日（月）～10月31日（金）
窓口での受付時間：午前8時30分から午後5時15分まで※郵送が窓口への提出のみ受け付けます。
土曜日・日曜日・祝日の受け付けはできませんのでご注意ください。
※期間内必着。上記の期間以外は受付しません。

- 送付先：〒649-3592
串本町サンゴ台690番地5
串本町役場 教育課
社会教育グループ 短歌大会係



- 選者：岸田 正幸 氏
（毎日新聞 紀州歌壇選者）
- 賞：特選・秀作・佳作を用意しています。
- 講評会：令和8年2月6日（金）
午後1時30分～
場所 串本町文化センター
- その他：出詠者には作品一覧表と、選者からの寸評を講評会でお渡しします。
- 問い合わせ：串本町役場教育課 社会教育グループ
電話：0735-67-7260
FAX：0735-67-7326



第21回

町民大運動会

10月26日(日)

9時開始／12時終了予定

場所 串本町総合運動公園（多目的グラウンド）

※雨天の場合は中止

【主催】 串本町・串本町教育委員会

【お問合せ】 教育課社会教育グループ

TEL.0735-67-7260



第18回 串本町卓球大会

7月27日串本町立体育館において、第18回串本町卓球大会を開催しました。大会にはシングルス110名、ダブルス58組が参加しました。大会結果は次のとおりです。

【大会結果】

■シングルス1部

優勝 川口富喜

準優勝 松本利士

■シングルス2部

優勝 中場秀治

準優勝 沖純平

■シングルス3部

優勝 松岡明代

準優勝 大末なち子

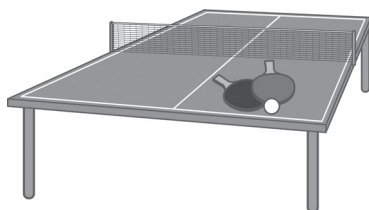
■シングルス4部

優勝 山中浩子

準優勝 三原奈々

■ダブルス1部

優勝 松本和士・松本宗士ペア



準優勝 内川匠・西山良樹ペア

■ダブルス2部

優勝 沖純平・石田剛ペア

準優勝 岡本正・塩崎圭ペア

■ダブルス3部

優勝 加藤綱男・山下佳子ペア

準優勝 愛須春美・榎尾美代子ペア

■ダブルス4部

優勝 辻本啓・西庄ひかるペア

準優勝 山中浩子・濱口美智子ペア

古座小の願いを乗せたミニ御舟

7月16日、宇宙ふれあいホールSora・Miruで、古座小学校の児童が「ミニ御舟」の飾り付けを行いました。

この御舟は、河内神社例祭「河内祭」で用いる御舟の模型で、河内祭を盛り上げたいとの思いから、例年祭りの前に、6年生が中心となって飾り付けを行っているものです。



当日は6年生が教職員と一緒に飾り付けを頑張っていました。
完成したミニ御舟は、河内祭のジオラマとともに、2階ロビーで常設展示を予定しています。



児童たちが楽しみにしていた河内祭は、7月26日、27日に盛大に開催されました。



河内祭当日の様子

令和7年度 串本町長杯軟式野球大会

7月21日、古座川町高瀬若者広場球技場において、串本町長杯軟式野球大会決勝戦が開催されました。

この大会は、野球を通してお互いの親睦と交流を深め、スポーツの普及推進を図ることを目的として行っています。

大会の結果は次のとおりです。

【優勝】Real

【準優勝】46年会



優勝 Real



準優勝 46年会

放送大学入学生 募集のお知らせ

○放送大学は入学生を募集しています。

○10代から90代の幅広い世代約8万4千人の学生が、大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で学んでいます。

○授業には3つのスタイルがあり、BS放送やインターネットで視聴する、また講師から直接受ける授業があります。

○心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、300以上の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができ、卒業すれば学士の学位を取得できます。

○1単位の授業料は6千円（入学科は別）。半年ごとに学ぶ科目だけの授業料を払うシステムです。

○全国にキャンパスにあたる学習センター等が設置されており、面接授業（スクーリング）の開講やサークル活動などの学生交流も行われています。

○資料を無料で差し上げています。

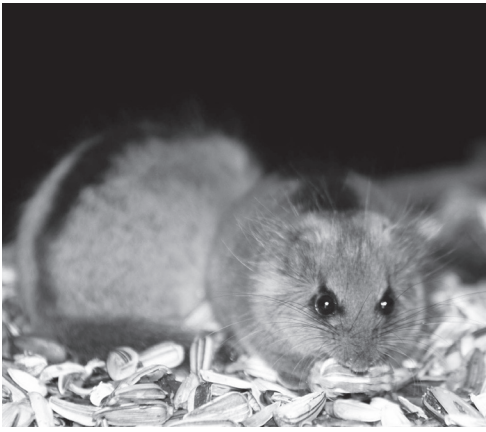
「放送大学和歌山学習センター」
(☎073・431・0360)
までお気軽にご請求ください。

灯台

ヤマネについて

みなさんは、森に棲むヤマネという生きものを知っていますか。ネズミやリスによく似た生きもので、世界中の森林で暮らしています。日本にいるのは固有種である二ホンヤマネで、国の天然記念物に指定されています。

ヤマネは、鼻先から尻尾の先までの長さが約13センチ、体重は約18グラムで、ニワトリの卵よりも軽い小型の哺乳類です。背中に黒い線が一本入っていて、尻尾にはふさふさとした毛が生えています。くりくりとした目の周りには黒い毛がアイシャドウのように生えていて、とてもかわいらしい動物です。



私は熊野川町で暮らすまで、ヤマネという名前を一度も聞いたことがなく、姿を一度も見ることがありませんでした。それは、ヤマネが森の奥深くに棲み、夜行性で、木の上で暮らしているからかもしれません。

私がヤマネという動物を知るようになったのは、熊野川町で湊秋作先生と職場が一緒だったからです。湊先生は理科の専任の先生で、子ども達を連れてメダカやオニヤンマの棲む田んぼや湿地で授業をしたり、森の神社でターザンごっこやチャンバラごっこをしたり、川では水生昆虫観察や食物連鎖の授業をするなど、子ども達に大人気の先生でした。私達にも自然の大切さを教えてくださり、とても楽しい先生でした。

湊先生がヤマネを研究するようになったのは、大学の下泉重吉学長が「ヤマネ」という動物の専門家であり、八ヶ岳で巣箱調査を行ったり、ヤマネの冬眠の生態を明らかにするなどの研究者だったからだそうです。こうして湊先生のヤマネ研究が始まりました。

湊先生が大学を卒業して最初に赴任したのが、紀伊山地の山の中にある本宮町の皆地小学校でした。全校生徒36名の小学校で、先生は「巣箱

を作り、ヤマネがいるかどうかを調べよう」と、子ども達と一緒に80個の巣箱を作り、学校周辺の山に架けに行きました。月に一回巣箱調査を行い、その中の一箱にヤマネの姿があったそうです。

そのあと紀州南部でのヤマネの生息を確認するため、那智山の滝壺から広がる原始林や、熊野川小口の若いシイが茂る山に巣箱を架けましたが、ヤマネの痕跡は見つかりませんでした。そのあと熊野川町にある鼻白の滝の森で、ヤマネの糞を一つ見つけました。

このようにして、北は秋田県田沢湖から南は長崎までヤマネの調査をしてまわり、今は山梨県清里高原にある「やまねミュージアム」の館長をしてられます。

一九九六年、清里の森で、高原有料道路建設のため、ヤマネが冬眠していた森にブルドーザーを入れ、木々を伐採するという事件が起きました。ヤマネは四〇五センチの浅い地上で冬眠するので、ブルドーザーが近づいても起きて逃げることはできません。同時に山梨県は森を分断する工事を行い、伐採し、ヤマネの移動経路の妨害とヤマネの生命を危機に陥れました。湊先生は山梨県に抗

議し、この事実を文化庁と環境庁に現場写真を送付して知らせました。

そのあとから山梨県との協議が始まり、一九九八年、高速道路の上に始めての「ヤマネブリッジ」が建設されました。これは、天敵からの攻撃を防ぐため三センチの金網で覆われています。内部には巣箱が置かれています。こうして「ヤマネブリッジ」は、すべての樹上動物のための歩道橋である「アニマルパスウェイ」として国内外に普及しています。

最近湊先生から「クラウドファンディング実施のお知らせ」が届きました。それには「ヤマネを調べ、ヤマネを守ることで、森を守り、森から恵みを受けているみなさんの未来に貢献できればと願っています。」とありました。今年は、地道な研究を八ヶ岳で充実させ、富士山で進め、和歌山や隠岐の島などで展開し、森創りやアニマルパスウェイ普及に貢献し、教育につなげ、ヤマネや他の生きものと人々が共に住みやすい未来に役立てたいということです。私も微力ながら少しでもお役にたきたいと思いました。湊先生がこれからも一層研究に励まれるよう応援します。

(中地 美香 編集委員)

第25回 和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

大会日時 令和8年2月8日(日) 午前11時スタート

場 所 開始式 紀三井寺公園陸上競技場

コース スタート 紀三井寺公園陸上競技場

ゴール 和歌山県庁前

(10区間：合計21.1km)

主 催 和歌山県、和歌山県教育委員会、
公益社団法人和歌山県スポーツ協会

対 象 小学校4、5、6年生、中学校1、2、3年生

チーム編成 小学生男女各2名、
中学生男女各3名

お問合せ先 串本町教育委員会
教育課社会教育グループ
TEL.0735-67-7260

**出場者
募集!**



教育課よりお知らせ

スポーツボイス体験教室 参加者募集

音楽に合わせて、全身を動かしながら声を出す運動です。呼吸機能や代謝機能の向上をはかり、リフレッシュしませんか？

ゆったりコースから段階的にレベルアップを目指します。

■場 所：串本町立体育館

■講 師：森 まりか 氏

■定 員：25名

■参加費：無料

■準備物：動きやすい服装
上履き
飲料
汗ふき用タオル

■申込先：串本町教育委員会
教育課社会教育グループ
TEL.0735-67-7260



■日 時：下記日程の午前10時から11時
(すべて木曜日／12回)
参加できる日だけでもかまいません。

10月	2日・16日	1月	8日・22日
11月	13日・20日	2月	5日・19日
12月	4日・18日	3月	5日・19日

